

国際交流センターだより vol.23

開学 80 周年記念国際交流記念式典を開催しました (2026年3月20日)

開学 80 周年記念及び新キャンパスオープン記念事業実行委員会 委員長
(医学科長・免疫学講座 教授) 伊藤 利洋

奈良県立医科大学開学 80 周年記念事業の最終イベントとして、3月20日(祝)に「開学 80 周年記念国際交流記念式典」を開催しました。本学が国際学術交流協定を締結している 7 大学・病院のうち、海外 6 大学・病院から 18 名をお招きしました。式典では各施設代表者による施設紹介と本学との国際交流の将来展望についての発表が行われ、相互理解と連携を一層深める有意義な機会となりました。多くの学生の協力のもと盛況のうちに閉会し、本学の国際交流のさらなる発展を実感する一日となりました。



式典の様子 (畝傍山キャンパス・講堂)

参加大学・病院

チェンマイ大学	タイ	
ルール大学	ドイツ	
ミシガン大学	アメリカ	
プリンス・オブ・ソクラー大学	タイ	
サンライズジャパン病院	カンボジア	
シドニー大学	オーストラリア	

※協定締結順

記念式典

1. オープニングセレモニー
2. 本学特別講演
3. 協定校による講演 (第 1 部)
チェンマイ大学/ルール大学/
ミシガン大学
4. 協定校による講演 (第 2 部)
プリンス・オブ・ソクラー大学/
サンライズジャパン病院/シドニー大学
5. 記念品授与・記念撮影
6. 閉会挨拶



ヘリポートを見学しました。見学中に、偶然ドクターヘリが到着する様子を目にすることができました。



各施設代表による懇親会での鏡開き



式典の前には、茶道部の学生による呈茶も行われました。

ミシガン大学を訪問しました (2026年1月6日～12日)

医学科長 (免疫学講座 教授) 伊藤 利洋

本年1月、学術連携校である米国ミシガン大学を訪問しました。当時、本学学生4名が臨床実習(2名)およびリサーチクラークシップ(2名)に参加しており、その現地視察を行うとともに、新たに医学部長に就任された Thomas Wang 氏 (写真右) ならびに Global REACH (国際交流センター) (写真左) と会談しました。学生たちは臨床・研究の現場で意欲的に研鑽を積み、国際的環境の中で大きく成長している様子がうかがえました。本学が推進してきた海外臨床実習・リサーチクラークシップの成果を改めて実感するとともに、今後さらなる教育・研究交流の発展について合意し、両大学の連携強化につながる有意義な訪問となりました。



Global REACH の担当者



ミシガン大学 Wang 医学部長と

令和7年度(第3回)若手研究者国際学会発表助成事業 助成者決定(2月10日)

令和7年度 第3回若手研究者国際学会発表助成事業の助成者は、右記の方に決定しました。

この事業は、若手研究者の国際学会等での発表の機会を増やし、国際的に活躍できる人材の育成を推進することにより本学における研究活動の一層の活性化を図るため、30万円を上限として往復運賃相当額及び宿泊費相当額を助成するものです。

年に2回(令和8年度より変更になりました)募集しておりますので、皆さまの積極的なご応募をお待ちしています。

所属(科目)	職名	氏名
病理診断学	医員	池本 彩花

令和7年度 海外留学助成事業 助成者決定(2月6日)

昨年度より本学の発展の一助とするため、海外留学助成事業を創設しました。この制度は海外において学術の研究、調査等に従事する者に対して、未来への飛躍基金を活用した海外留学助成です。令和7年度は、下記の5名の方々に決定しました。毎年募集を予定しておりますので、皆さまの積極的なご応募をお待ちしています。

所属(科目)	職名	氏名
腎臓内科学	博士研究員	孤杉 公啓
脳神経外科学	助教	佐々木 亮太
消化器・総合外科学	医員	小原 有一朗
救急医学	助教	鶴田 啓亮
消化器・総合外科学	医員	土井 駿介